



アガパンサス

Agapanthus



学名：Agapanthus (アガパンツス)
科 目：Liliaceae (ユリ科アガパンツス属)
原産地：南アフリカ



アガパンサス 'ストリピング・アボレツム'。寒さに強く、冬に葉先が枯れることはあっても、株全体が枯れることはほとんどありません。

世界各地に約20種が分布している南アフリカ原産の多年草。見た目がクンシランに似ていることから和名でムラサキクンシランとも呼ばれますが、クンシランの仲間ではありません。長さ25~30cmの肉厚の葉はすべて根^{こんしゅう}から生じる根出葉で、塊茎状の根茎と多肉質の太い根が特徴のアガパンサスの花期は6~8月。花筒が長く、先が閉じたままの花弁をもつ傘形の花を葉のあいだから伸びた花茎の先端につけます。

ちなみに、アガパンサスとは、ギリシャ語で「愛」をあらわすアガペーと、「花」をあらわすアンサスを組み合わせたもので、「愛の花」という意味があります。

青紫色の一重咲きが多く見られますが、白色の花をつける品種や八重咲き品種も存在。

切り花としても広く利用されており、主な品種には、やや淡い青色の花をもち、切り花用として普及している 'アーリー・ライラック'、濃紫色で大輪の花を多くつける 'パシフィック・ブルー'、大輪の白花を咲かせる 'モン・ブラン'、花茎が2m近くなり、1茎に200以上の紫花をつける 'ブルー・リボン' などがあげられます。



白い花をつけるアガパンサス 'ブレスিংハム・ホワイト'

MEMO

栽培：難易度 ★★☆☆☆

開花時期：6~8月

生育温度：20~25℃

収穫時期：-

手入れ：汚れた葉をふく

高さ：40~200cm

土：7：3
(赤玉土：腐葉土)

病気・害虫：コガネムシの幼虫

花

ア
アガパンサス

栽培ポイント

栽培

苗の植えつけは3~5月がベスト。暖地では9月の植えつけも可能です。地植えの場合は水はけのよい肥沃な場所に30cm間隔で5cmほどの深さに定植し、鉢植えの場合は6~7号鉢に1株の割合で植えつけます。

生育温度

適温は20~25℃。冬に葉先などが枯れることがあります。寒さには比較的強い植物で、株元に15cm程度の覆土を行えば根茎は冬越しします。ただし、最低気温が-10℃を下まわるような寒冷地では、根茎を掘りあげて適温で管理し、翌春に再び植えつけましょう。

手入れ

病害虫の被害は少なく、特別な手入れは必要ありません。汚れた葉をぬれた布などでふく程度で十分です。

日照

年間を通して日当たりのよい場所が最適ですが、半日陰でも育てられます。また、日差しが強すぎると葉焼けするおそれがあるので、夏期はネットなどで日除けしましょう。



アガパンサス・ブラエコクスには、さまざまな花の大きさや形態が見られます。

水やり

過湿を嫌うので、水のやりすぎには要注意。3~8月は表土が乾いたら、9~2月は表土が乾いて2~3日たってから、いずれも1回の量をやや少なめに与えます。

土

水はけがよく、有機質を含んだ土壌であれば、生長も早く、花数も多くなります。赤玉土7、腐葉土3の割合で混合した土が最適です。

肥料

地植えの場合は、植えつけ時に1㎡当たり1kgほどの乾燥牛ふんと、10~20gほどの有機配合肥料を与えるほか、追肥として2か月に1回、3~5粒の化成肥料を各株の周囲に施します。鉢植えの場合は、植えつけ時と8月ごろの2回、3~5粒の化成肥料を置肥するだけで十分です。

植えかえ

数年間植えばなしでも毎年花を咲かせますが、花数が少なくなるので、3~5年に1回、株分けを兼ねて植えかえるとよいでしょう。

殖やし方

3~5年に1回行う、植えかえ時の株分けによって殖やします。適期は3~4月もしくは8~9月。太い芽を選び、1株に3~4芽つくように切り離します。このとき、あまり細かく株分けすると、花つきが悪くなるので注意しましょう。

作業	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日照		日向・半日陰											
水やり		少なめ	ふつう					少なめ					
肥料		→											
植えかえ		→					→						

病気対策と害虫防止

- まれに、コガネムシの幼虫による根の食害がみられます。植えつけや株分け時に、土中に虫がいないかどうかをしっかりとチェックし、発見したらダイアジノン粒剤を土中に混ぜ込んでおきましょう。

購入アドバイス

苗が出まわるのは4~6月。葉や茎がしっかりしたものを選びます。店頭で見つからない場合は、種苗会社の通信販売で購入するとよいでしょう。



アガパンサス・ブラエコクス・オリエンタリス。花が大きいので、鉢植えに1株だけでも見栄えがします。



濃いブルーの花がさわやかなアガパンサス「リビング・カンター」